

大地をめぐる住まいと風景



藤岡 換太郎

神奈川大学 [地球科学/地質学]

×

中谷 礼仁

早稲田大学 [建築史/歴史工学]

ファシリテーター

松田 法子

京都府立大学 [都市史/領域史]

2017年

9月23日 土・祝

15:00 ~ 19:00

※終了後、会場にて懇親会あり

MEDIA SHOP | Gallery

河原町三条下ルー筋目東入ル大町44VOXビル1F

参加費: 1,500円

※資料代・懇親会代

事前予約不要

企画

本間 智希

RAD・奈良文化財研究所景観研究室
[建築史/文化的景観]

主催: RAD

協力: MEDIA SHOP・千年村プロジェクト

問い合わせ

tomoki.honma@radlab.info (本間)

※詳細はRAD HPもしくはFacebookイベントページ参照



石畳のテラスに集約されたBuildinghoodの様子、モナ (Mauna) 村にて、インド (中谷 撮影)

○企画趣旨

2011年東日本大震災、2016年熊本地震、2017年九州北部豪雨など、近年ますます、暮らしの基盤である大地を強く意識する時代を迎えています。一方、6,852もの群島から成る日本列島は、国土面積の2/3が森林に覆われ、四季を通して多くの自然資源に恵まれており、その恩恵に預かりながら、多様な営みが豊かな風景を培ってきました。

2017年、3月に建築史家で歴史工学家の中谷礼仁氏による『動く大地、住まいのかたち プレート境界を旅する』(岩波書店)、5月には地球科学と地質学が専門の藤岡換太郎氏による『三つの石で地球がわかる』(ブルーバックス、講談社)が、それぞれ刊行されました。

「千年村プロジェクト」メンバーでもある中谷氏と、近年再注目されている『北白川こども風土記』(1959年)を執筆された北白川小学校の児童の1人でもある藤岡氏を京都にお迎えし、それぞれの大地をめぐる営みと風景のあり方について視座をお話いただきます。専門分野も経歴も異なる2者による邂逅が、どのような化学反応を生み出すでしょう。

後半には、「地・質からみる都市と集落」というテーマで精力的な調査研究をされている松田法子氏に進行役としてご参加いただき、「大地をめぐる住まいと風景」というテーマで鼎談を実施します。会場からの声も交えながら、住まいや風景への視座を話していただきます。

○タイムライン

- | | |
|---------------|--|
| 14:30 - | 開場 |
| 15:00 - | 趣旨説明・登壇者紹介 |
| 15:10 - 16:10 | 藤岡換太郎氏トーク
「列島形成から見た日本の風景と、白川流域をたどる旅」
(10分休憩) |
| 16:20 - 17:20 | 中谷礼仁氏トーク
「プレート境界の住まい、ビルディングフッド、千年村」
(10分休憩) |
| 17:30 - 18:30 | 松田法子氏を交えて鼎談
「大地をめぐる住まいと風景」 |
| 18:30 - 19:00 | 会場より質疑応答・まとめ・終会 |
| 19:00 - 20:00 | 会場にて立食式の懇親会 |

○プロフィール



中谷 礼仁 Norihito NAKATANI
早稲田大学創造理工学部建築学科 教授

特異な活動で知られる建築史家、歴史工学家、アーキオロジ。博士(工学) 早稲田大学。
土地形質の継続性と現在への影響の研究(先行形態論)、今和次郎が訪れた民家を再訪し、その変容を記録する活動の主宰をへて、最近では千年続いた村研究-千年村研究-等を行っている。
著書に、『今和次郎「日本の民家」再訪』瀝青会名義(共著、平凡社2012)『セヴェラルネス+ 事物連鎖と都市・建築・人間』(鹿島出版会2011)など。



藤岡換太郎 Kantaro FUJIOKA
神奈川大学工学部非常勤講師

地質学・地球科学。理学博士(東京大学)。
米国など35カ国で1000日以上の上陸調査。調査船に70レグ以上、1000日以上乗船し、多くの航海で首席研究員を務めた海洋調査の経歴を持つ。「しんかい6500」に51回乗船。太平洋、大西洋、インド洋の三大洋に人類初めての潜航を行った。
著書に、『川はどうしてできたのか』(2014)『海はどうしてできたのか』(2013)『山はどうしてできるのか』(2012、いずれもブルーバックス、講談社)ほか多数。



松田法子 Noriko MATSUDA
京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 専任講師

都市史・領域史。博士(学術)。
近年は建築や集住体のフィールドワークを、地形・地質・水系・地域史などを複合させた広域なエリアスタディとの往還として取り組む。またこれらを「地・質からみる都市と集落」、「汀の人文史」、領域史などとして提起する。
主著に『絵はがきの別府』(左右社、2012年)、編著に『危機と都市 -Along the Water』(左右社、2017年)、「都市史から領域史へ」(『建築雑誌』、2015年)など。